

こどもが単語を覚える順番の謎

～幼児語彙学習期間の言語共通性～

どんな研究

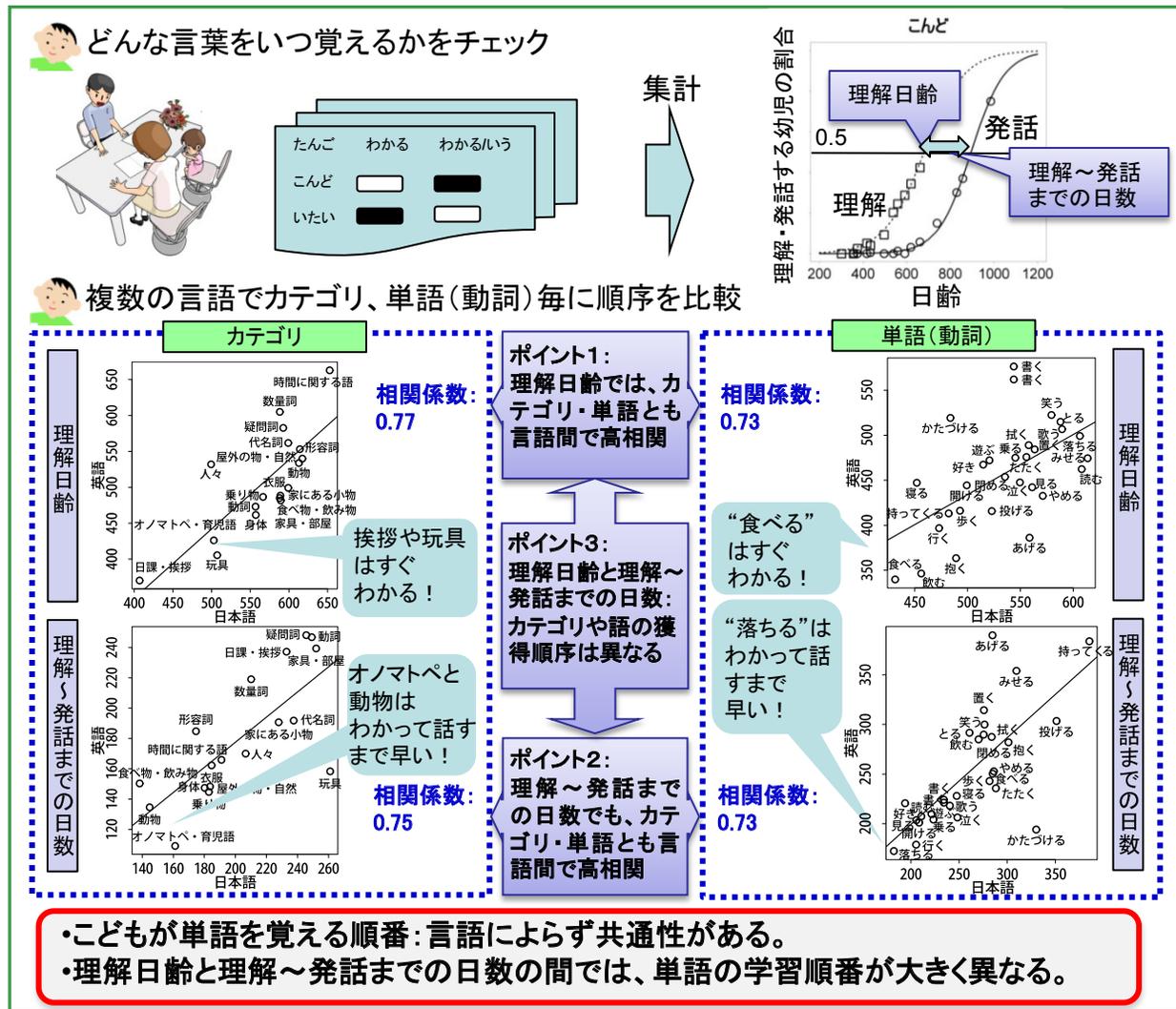
チェックリストを使って、いつどんな単語を覚えたかを多人数の幼児を対象に調べました。このデータから、単語を**理解する日齢**、および、**理解してから発話するまでの日数**を求めた結果、日本語、英語とスペイン語[3]で、単語を覚える順番に共通性があることを発見しました。

どこが凄い

これまで、幼児は動詞より名詞を早く覚えると言われていましたが、少数の幼児を調べる、あるいは、品詞の頻度を求める以外で、この証拠を示した例はありません。今回単語を覚える時期を特定することにより、カテゴリや単語の間に**言語共通の順序**があることを初めて見出しました。

めざす未来

語彙学習原理を解明することにより、ヒトでのみ進化した言語能力の解明を実現します。この過程で得られた知見をもとに、子どもの健やかな知的発達を後押しする社会システムの実現に寄与します。また、解明された原理をもとに、ヒトをモデルとする新たな計算原理を確立します。



関連文献

- [1] Y. Minami, T. Kobayashi, H. Sugiyama, "Cross-linguistic universality of word acquisition ages in comprehension and production," in *Proc. WILD*, 2013.
- [2] Y. Minami, T. Kobayashi, "Influence of predominance in noun learning examined by period from comprehending to producing words: A cross-linguistic statistical investigation using CDI," in *Proc. WILD*, 2013.
- [3] P. S. Dale, L. Fenson, "Lexical development norms for young children," in *Proc. BRMIC*, Vol. 28, pp. 125-127, 1996.

連絡先

南 泰浩 (Yasuhiro Minami) メディア情報研究部 コミュニケーション環境グループ
E-mail: minami.yasuhiro{at}lab.ntt.co.jp ({at} の部分を @ に置き換えてください)